

# 野栗4地区 がけ崩れ対策事業

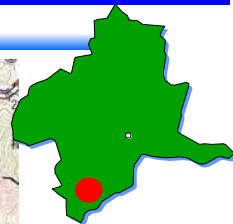
## 政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

### 事業概要

- 所在地：上野村大字新羽
- 地区名：野栗4地区
- 事業内容：法枠工、擁壁工
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和3年度～令和6年度（4年間）
- 保全対象：避難所 1箇所  
人家 10戸（うち特別警戒区域内6戸）

### 事業位置



### どのような目的を達成するための事業か

- ・土砂災害リスクを軽減するため

**法枠・擁壁をつくります**



・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される施設	0戸	10戸

#### 実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

#### 実施後

- ◆擁壁をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

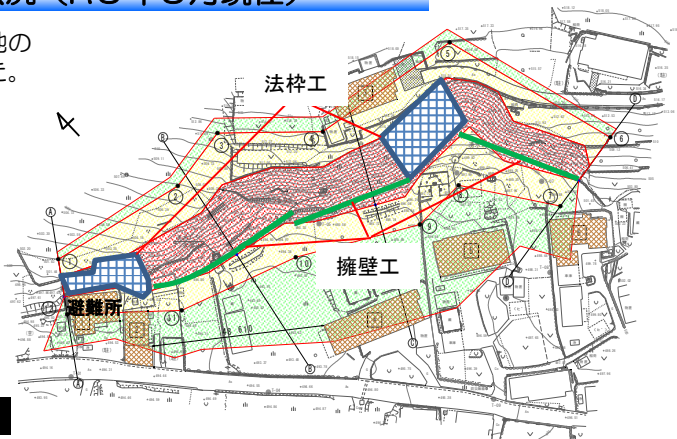


事業後の状況（イメージ）

### 事業の進捗状況（R3年3月現在）

令和3年度は事業予定地の詳細設計を実施しました。

- 急傾斜地
- 誘発助長区域
- 被害想定区域
- 保全対象



#### 今、何をしているか

令和4年度は、用地測量・用地調査を実施します。



R4実施箇所

#### 事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了